

御案内

このたび元外務省 中村順一氏の「これだけは世界に発信したい 日本についての18章」が仕上がりましたのでご案内いたします。同氏は半世紀あまりにわたる外国との関わりの中で、終始、日本・東洋の位置づけにつき関心を持ち、その集大成として今回のシリーズをまとめられました。ご高覧の程お願い申し上げます。

これだけは世界に発信したい 日本についての18章

中村 順一

内容紹介

○日本の衣食住

第1章 — 日本の衣 (和服)

第2章 — 日本の食 (和食)

第3章 — 日本の住 (和室)

○日本語

第4章 — 日本語(そのI) — 世界に類のない言語

第5章 — 日本語(そのII) — 感性重視の言語

○日本の感性と東洋の叡智

第6章 — 日本の感性と東洋の叡智

第7章 — 移ろい— 気配、面影、余韻と余白、間(ま)

第8章 — さりげなさ— 細やかさ、奥ゆかしさ、素朴さ、静けさ

第9章 — もののあはれ— 雅(みやび)、わびさび、粋

第10章 — 察する— 思いやり、気遣い、心配り、おもてなし

第11章 — 和の文化— 調和と融和、和む、和らぐ、和する、和える

第12章 — 寛容と包容— 複数価値の容認、表決の回避

第13章 — 道と「こころ」— 本質の見極めと内面の重視

第14章 — 無と空の思想— 禅、来世のない世界、先端科学との接点

第15章 — 自然との共生— 一体化— 自然の取り込み

第16章 — 自律と分別— 自らに厳しく、たしなみ、けじめ

第17章 — 世間と人間— 関係重視、縁、恥、義理人情

第18章 — 京都からの発信— 京都には和と洋の東西が凝縮して現存



1959年5月ケンブリッジ大学卒業式
中村順一氏(左)



著者プロフィール

1934年横浜市生まれ。東京大学法学部卒。ケンブリッジ大学修士課程修了。

40年間の外務省勤務(うち7カ国、計20年の外国生活)。

その後、国立京都国際会館館長(1998-2008)、現在も東京と京都の往復生活が続く。

中高時代より鎌倉円覚寺で参禅、早くから日本文化、東洋思想に関心を持つ。

現職 平安女学院大学客員教授 京都外国語大学理事

国際京都学協会副理事長 古典の日推進アドバイザー

著書: ベルギー随想(日本語・英語版)、今回のエッセー集の英語版(明年発表予定)

第1章から第5章までは下記のアдресで公開しております。すべてをご覧になるには有料です。(税込1,000円)

下記にお振り込み完了後、お客様に送信させていただきますので、お手数ですが ktanaka@arica.co.jp に件名【中村順一エッセー】としてメールアドレスとお名前をお知らせ頂きますようお願い申し上げます。

編集協力: 有限会社アリカエンタープライズ

代表取締役 田中賀鶴代

〒604-0022 京都市中京区御池之町305 遊子庵

TEL: 090-1910-2006 E-mail: ktanaka@arica.co.jp

URL: <http://arica.co.jp/nakamura.html>

お振込先

ゆうちょ銀行

有限会社アリカエンタープライズ

記号14010 番号11484491